

かけはし

もりよし荘だより

編集・発行

〒018-4301

秋田県北秋田市米内沢字七曲25番地

(社会福祉法人 交楽会)

介護老人保健施設 もりよし荘

TEL. 0186-72-5030 FAX. 0186-72-5017

<http://www.akita-kouraku.jp/>

NO. 14

平成29年10月1日



米内沢保育園の園児のみなさんによる踊りを我が孫を見るように目を細め、中には涙を浮かべて嬉しそうに見ていました。

祝敬老

笑顔で長寿を祝う

最高齢は102歳の男女2人



湊施設長より目録を受け取る利用者

9月7日敬老会が開かれ、お祝に訪れた家族や関係者多数のご臨席のもと、利用者の長寿が祝われた。最長寿は満百二歳の男女2人。本年度は百歳以上が4人、95歳以上が15人、卒寿5人、米寿7人、傘寿7人、喜寿1人となっている。



手作りのお花のプレゼント

この日88歳の米寿を迎えた人たちは赤いちやんちゃんこを着て式に出席。敬老対象者と利用者は車椅子や歩行を助けてもらいながらホールに集合した。初めに赤石利法理事、湊施設長があいさつ。近藤健一郎県議、北林丈正県議が祝辞を述べたあと、短期、通所利用者を含めて、喜寿(77歳)、傘寿(80歳)、米寿(88歳)、卒寿(90歳)の年祝いを迎える方を紹介。湊施設長から利用者代表した米寿の五十嵐初子さんに記念品を贈った。五十嵐さんが「私たちのためにこのような会を開いていただきありがとうございます」

います。これからも健康に気を付けて心豊かに過ごしていけます」とお礼の言葉を述べた。式典が終了後、米内沢保育園の園児による歌や踊りなどのアトラクションを楽しみながら、お互いの長寿を祝っていた。

愉

やすらぎの笑顔がひよつたとき

「たのしく=happy」



握手で交流を図るランナーと利用者

「やすらぎの笑顔がひよつになる時：」をテーマに掲げた2017北緯40度秋田内陸リゾートカップ第27回100キロチャレンジマラソン大会が9月24日、仙北市角館町・北秋田市鷹巣間をコースに開かれた。晴天にも恵まれ、少し暑い中利用者は荘の入口にてマラソンランナー達へ「ゴールまで頑張つてね」と旗や手を振り熱い声援を送った。声援を受けたランナーは「頑張ります、来年も来るから元気でいてね」と疲れているにも関わらず、笑顔で手を振ってくれた。ランナーと利用者との和みのひとときだった。



旗を振って選手達を応援する利用者

暑さを忘れるひととき

～夕涼み会開催～



ダンスキッズの華麗な舞

7月28日開かれ利用者や家族、地域住民が民謡ショーや祇園太鼓、ダンス、模擬店などで夏の夜のひとときを楽しんだ。



暑さを忘れる力強い祇園太鼓

会場には、焼きそば、かき氷、金魚すくい、輪投げ、くじ引きなどの夜店が設けられ、職員やボランティアが汗だくになって切り盛りした。利用者も家族らに車を押ししてもらい、買い物と一緒に食事する姿も見られた。くじ引きでは欲しいものが当たり喜ぶ利用者で賑わった。玄關前では、祇園太鼓の演奏や森吉ダンスキッズによるダンスが披露され、会場からは大きな

拍手がおこった。成田理事長が「恒例の夕涼み会。地域の人たち、利用者も毎年楽しみにしている。ボランティアとして秋田北鷹高校の生徒や各企業に協力いただき感謝している。雨が降らないことを祈りながら、楽しんでいってください」とあいさつした。その後ホールでは柏木妙子民謡ショーが行われ、曲に合わせて手拍子や歌を口ずさむ利用者もいて会場は盛り上がった。



くじ引きを楽しむ利用者



柏木妙子民謡ショー

共勇会獅子踊り



躍動感あふれる踊り

共に笑顔あふれる

8月13日米内沢共勇会の獅子踊りが行われた。踊り手がおはやしに合わせ奴踊りや棒使い、勇壮な駒踊りを披露した。今年に残念ながら指導者不在の為、米内沢保育園児の駒踊りは中止となった。しかし共勇会の皆さんの踊りは力強く、利用者や見学に来た地域の方々から大きな歓声と拍手が送られていた。

県立比内支援学校たかのす校(佐藤正好校長)の中学部3年生4名が、7月来荘し歌や踊りを披露して通所しハビリの利用者との交流を深め合った。今年は人数が少なかつたものの、生徒と利用者はすっかり顔馴染み。今回の来荘では、昨年流行したピコ太郎の楽曲「PPAP」の踊りに挑戦。サングラスで仮装して振付もばっちりな演技に利用者からは「うまい、うまい」、「上手なもんだ」と歓声と拍手が上がった。



交流を深める利用者と生徒の皆さん

この他にも笛と歌で北島三郎の「まつり」、鷹巢音頭の踊りを披露した。終始和やかな雰囲気を利用者、生徒共に笑顔だった。



優勝を手にし表彰される紅組の利用者

熱闘

雨にも負けずに

今年も紅組が優勝

6月10日、もりよし荘ホールにて第10回「もりりんピック」が開催された。この日はあいにくの雨天により、施設内での開催となりましたが、利用者をはじめ職員、家族、秋田北鷹高校生のボランティアが参

加し、競技を楽しまれた。開会式で湊施設長の挨拶に続き、交楽会の成田陸雄理事長が「今日は残念な天気となったが、記念すべき第10回目の運動会。外のようにはいかないと思うが、楽しいもりりんピックにしてください」と激励した。利用者の選手宣誓、ラジ



笑いが巻き起こったアメ玉探し

才体操に続き、箱の中のお菓子を袋に詰めてゴールする「いいもの詰め競争」が行われた。出来る限り袋をいっぱいにしてゴールへ向かう姿が印象的だった。また、色別対抗リレーで



袋いっぱいのお菓子を持ってゴールへ！

は職員のコーラの早飲み対決で盛り上がり、パジャマに着替えた職員が顔を粉まみれにしながら、一生懸命にアメ玉を探す光景に、会場が笑いの渦に包まれた。



大いに盛り上がったコーラ早飲み

6月6日、もりよし荘での恒例行事となった、北秋田市森吉赤十字奉仕団（北林カズ委員長）の団員10人が、晴天の下、マリーゴールドやサルビアなどの花苗の移植作業を行なった。毎年「もりりんピック」の開催前に植栽を行なっており、「皆に綺麗に咲いた花を楽しんでいってほしい」との思いで、色合いや配置を考えながら一つずつ丁寧に植えられていた。秋まで楽しませてくれる色とりどりのお花を、利用者も楽しみにしています。

綺麗に咲いてね



移植作業に汗を流す参加者

ユニット物語

施設では各ユニットごとに多彩な活動を展開しています。誕生会や四季折々の節句や行事では、日常とは違った利用者みなさんの生き活きとした笑顔とまなざしが印象的です。

今回はそんな情緒豊かな様々な営みの中から、意欲あふれる活動のひとつをお届けします。

どれがいいかな？

(七月 うめ)



7月5日、気持ちの良い陽気の中お散歩を兼ねて、もりよし荘の近くのコンビニへ買い物ツアーに出掛けました。たくさんの品物を前にして、目を輝かせておりました。

春の訪れと息吹を感じに

(四月 ふじ)



雪も溶け、春の風が吹いてきたもりよし荘前には、今年も赤や黄色、ピンクと色とりどりのお花が芽吹きました。昨年より桜の開花が少なかったのが残念でしたが、外の優しい匂いに誘われるかのように、気持ちの良い日光浴を楽しめました。



手作りおやつ

(六月 ふき)

6月11日、利用者の皆さんと一緒に手作りのおやつを作りました。手馴れた手つきで果物を切り分ける皆さん。

お食事ツアーへ

(五月 通所)



毎年、春には日頃のリハビリの成果も兼ねて、色んな場所へドライブに出掛けます。綺麗な景色の後で食べるご飯の美味しいこと。

お花見ドライブ

(五月 みず)



5月上旬鷹巣の中央公園へお花見ドライブに出かけました。満開の桜の中、利用者の笑顔も満開に……



中学生とお話を楽しむ利用者

充実した 職場体験

5月27～29日の3日間には3名、7月31日～8月2日の3日間には1名、森吉中学校1年生が職場体験学習で来荘した。短い期間ではあったが利用者との交流を深め、たくさんのお話を学んだ様子であった。



元気いっぱい自己紹介する生徒の皆さん

実習・ボランティア

- 柏木妙子御一行様 森吉赤十字奉仕団様
- 七曲自治会様 米内沢共勇会様
- 比内支援学校たかのす分校様 秋田北鷹高校様
- 森吉中学校様 米内沢保育園様
- 森吉ダンスキッズ様 米内沢祇園太鼓様
- 秋田県信用組合森吉支店様 北都銀行米内沢支店様
- 森幸園様 森泉荘様 もりの郷様 金淳之介様

寄付・善意

- (株)JA大館・北秋田葬祭センター様
- (有)やまこう様 Aコープもりよし様
- (株)かんきょう様 (株)タクト様 (株)柏木実業様
- 大桂メンテナンス(株)様 明成園様
- 大倉節子様 櫻井エイ様 伊藤公夫様
- 谷地田優子様 松岡純子様 藤原潤悦様



居宅介護支援事業所たより

ケアマネジャーの庄司です。皆様が住み慣れた地域で安心して在宅で暮らせるよう介護保険の枠だけでなく様々な情報をお伝えし、皆様の暮らしがより豊かになるような、サービス計画（ケアプラン）作成を心がけております。また、公正中立にそれぞれに合った適切な

ケアマネジャーの庄司です。皆様が住み慣れた地域で安心して在宅で暮らせるよう介護保険の枠だけでなく様々な情報をお伝えし、皆様の暮らしがより豊かになるような、サービス計画（ケアプラン）作成を心がけております。また、公正中立にそれぞれに合った適切な

【もりよし荘居宅介護支援事業所】 庄司信子
談、福祉用具などに関する相談や日常で抱えている不安や介護状況など介護全般に関する相談を受け付けております。料金は無料です。地域で行っている介護支援や市の福祉サービスについても紹介させていただきます。一人で悩まず、まずはお声掛けください。

編集後記

秋田の短い夏も終わりを告げ、だんだんと色づき始めた山々と共に、すっかり肌寒くなりました。
▼今年も様々なニュースが世間を賑わせましたが、稀勢の里関の横綱昇進は個人的にとっても嬉しい出来事でした。大関に昇進してからというもの、ここ一番！という勝負所で何度も苦汁を飲んできたであろう稀勢の里関の横綱昇進は、私自身に、そして全国のファンに、勇気と感動をくれました。怪我に負けず、また堂々とした横綱相撲が見れることを心から願っています。
▼さて、今回2年連続で「かけはし」の編集作業に携わりました。1年前にやっていたとはいえ、どこから手を付けていいのか分からず苦労しましたが、他の職員の方々のお陰で、無事に「かけはし」を発行することが出来ました。

(T・A)